琉球大学学術リポジトリ

[記事]研究会ニュース

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017212

研究会ニュース

事務局から会員の皆様への連絡，お知らせなどはこれまでニュースレターを通じて行っておりましたが，研究会誌の発行に際しまして会誌とニュースレターの2本立で行うことになりました．今回は第1回目として，今日までの研究会の歩みを整理し，これを中心に会則などを掲載しました．

1．研究会の歩み

本会は今年で設立4年目を迎えた若い研究会で，一般会員数124名，特別会員数17社となっております．研究会誌第1巻第1号を記念して設立から今日までの歩みを略述します．

昭和56年12月19日　琉球大学農学部にて設立総会（第1回総会）を開催し，初代会長に國府田佳弘琉球大学教授を選出した．また，本会会則が協議され，制定された．同時に理事，幹事など役員が選出され運営体制が整えられた．

昭和57年4月7日　第1回理事会にて企画委員会の設置が協議され，同委員会規程を制定し，委員が選定された．また，受託研究規程が制定された．

昭和57年6月12日　名護市にて前ハワイ大学教授 Dr. Henry Nakasone　熱帯果樹の栽培について懇談会を開催した．

昭和57年9月18日　理事会にてバイオマス国際シンポジウムの実行委員を選定した．

昭和57年10月23日　琉球大学農学部にて第2回総会を開催した．同時に下記の特別講演会を開いた．

1）大鶴正満（琉球大学医学部長）：熱帯地域における医療の現状と今後の協力のあり方

2）四方治五郎（琉球大学農学部教授）：沖縄における未利用生物に含まれる生理活性物質について

3）垣花郁夫（北部製糖株式会社）：製糖用外来語について

昭和57年12月25日　バイオマス国際シンポジウム実行委員会が発足した．

昭和58年1月24日　琉球大学農学部にて特別講演会を開催した．

Dr. Hiroshi Yamauchi　（ハワイ大学教授）：日米における経済開発と水資源の利用について

昭和58年4月1日～4月6日　那覇市内パシフィックホテルおよび琉球大学農学部にてバイオマス国際シンポジウムを開催した．参加者は300名以上で，その内，外国13カ国より34名，県内参加者は約100名であった．講演数は次のとおりであった．

OPENING LECTURE	2題
REVIEW SESSION	13題
バイオマスランド SESSION	2題
POSTER SESSION	3題
特別講演	2題
一般講演	16題

昭和58年8月27日　名護市（オリオンビール名護工場）にて第3回総会および特別講演会を開催した．特別講演は次の通りである．

1）藤山虎也（前琉球大学教授）：海洋資源の有効利用（バイオマスとしての藻類）

2）浮島明進（オリオンビール株式会社）：最近のビール醸造技術の動向

昭和59年2月1日　理事会にて，研究会誌の発行について協議し，四方治五郎琉球大学教授を編集委員長とし，編集委員を選出した．同時に，編集規定，原稿作成要領を制定した．

昭和59年5月19日　那覇市（沖縄銀行ホール）にて，次の特別講演会を開催した．

小山鐵夫（ニューヨーク植物園，ニューヨーク市立大学教授）：島嶼的地域開発と資源植物園

昭和59年6月30日　琉球大学大学会館にて第4回総会，特別講演会および第1回研究発表会を開催した．役員改選が行われ，國府田会長が再選され，新役員が選出された．同時に編集委員会を開催し，原稿募集を開始した．

特別講演は次の通りであった．

1）石橋貞人（九州大学教授）：夏野菜の施設栽培

2）金城清郎（沖縄県農業試験場化学部長）：ホテイアオイの利用技術

また，第1回研究発表会では10題が発表された（これについては後述する）．